

## R6 年度 4 月 さくら組ドキュメンテーション「かんぱーい！」

ある日、おままごとで遊んでいたさくら組の A 君とばら組の B 君。  
始めはそれぞれ遊んでいたが、B 君が椅子に座ると A 君ももう 1 つの椅子に座った。

2 人はそれぞれ玩具のコップを持っていて、A 君が「ジュース入れる！」と言い飲み物を注ぐ動きをした。そして「B 君のも」と言ってやかんの玩具を持って来て B 君のコップにも同じように注いだ。



その後 A 君が「かんぱーい」と言って飲む真似をしていた。



### ☆考察☆

・以前から A 君がコップを使って乾杯をする姿は良く見られた。しかし今回は、乾杯する際に自分の分だけでなく「B 君の分も飲み物を入れる」という行動が見られた。これは単に「飲み物を入れる」という生活の模倣だけでなく、A 君が友達と一緒に遊びたいという気持ちが遊びの中に現れたのではないかと考えられる。

・友達と一緒に遊ぶことを楽しいと感じている今の時期の子ども達。関わりが増えることで気持ちが上手く相手に伝えられないことが今後出てくると考えられる。そのような場面で保育者が仲立ちをして子どもの気持ちを代弁しつつ、状況に応じた言葉を子ども自身が使えるように促していきたい。